

出版物海賊版サイトの 最新状況

2021年4月6日
一般社団法人ABJ

一般社団法人ABJに関して

- 2020年7月に設立。出版社だけでなく、著者団体、電子書店・取次、通信・IT事業者が参画する海賊版対策の団体
- 【正規版サービスであることを示す「ABJマーク」の制定・運用】 【啓発活動】 【関連する官庁・団体との連携】 【海賊版サイトリストの作成と利活用】 が活動の4本柱
- 予算と法人格を持ち持続的な対策を実施

Authorized Books of Japan



00000000

漫画村を超える被害が継続

- 巣籠り需要の影響と、新たな巨大サイト（複数）の誕生
- 漫画村の最盛期 = 月間1億7000万アクセス 現在 = 2億アクセス超
- 漫画村でタダ読みされた金額 = 3200億円（CODA推定）
- 2020年1月～2021年3月までタダ読みされた金額 = 3150億（ABJ試算）
- 4月以降、漫画村を上回り、日々史上最悪を更新していく
- アクセス数1位と3位のサイトの伸長が止まらない
- 前月比プラス19%とプラス5%
- この3月に新しい兄弟サイトも登場
- すべてベトナム系。あらゆる対応を実施しているが、閉鎖にはいたらず

ダウンロード型に関しては変化の兆しが

- **ダウンロード型のサイトが明確に減少**に転じた
- 上位10サイトのうち6サイトがダウンロード型で、すべてマイナス
- 結果、上位10サイトの合計アクセス数はこの1年間ではじめて**マイナス**に
- **2021年1月の改正著作権法施行**と、それを周知する**STOP! 海賊版キャンペーン**（2月中旬スタート）の効果
- 見方を変えると、ダウンロード型ではないベトナム系にユーザーが逃げた、とも言える

STOP! 海賊版キャンペーンに関して

- 2021年1月1日の改正著作権法（「ダウンロード違法化の対象範囲の拡大」）を周知するため、（一社）ABJが主体となり予算を投入して実施
- 大人気漫画24作品のメッセージバナーを制作、海賊版視聴者が多いYouTube、海賊版サイト情報のやりとりが多いツイッターを中心に、ネット広告を展開
- 9700万回表示（暫定値）

